

中期経営計画（R3～R7）に係る令和5年度内部評価の理由と今後の取組

○「概ね達成している」に満たなかった主な事業について

主な事業名：浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（主要施策（1）（2））

達成指標：自家発電設備の増強施設数

達成状況：未達成だが進展している

【達成状況の分析及び課題】

- ① 増強工事の完了施設数については、ちば野菊の里浄水場で、自家発電設備の試運転に関連する工事の遅れに伴い、増強完了が次年度にずれ込んだことで、計画していた3施設のうち、2施設の補強完了となった。
- ② 増強工事の着手予定数については、着手予定であった4施設で入札不調となったことから、工事着手を計画していた14施設のうち、10施設の工事着手となった。

【今後の具体的取組】

入札不調への対策として、発注規模の見直しなどを行い、発注業務を進めていく。

主な事業名：大口径管路更新工事（一拡栗山～船高線他）（主要施策（1）（2））

達成指標：大口径管路更新の実施

達成状況：進展していない

【達成状況の分析及び課題】

工事着手を計画していた5路線・計8件の工事のうち、1路線・計2件が計画どおり工事着手となったが、5路線6件については、道路・河川管理者やガス・電気事業者との施工に係る協議等に時間を要したため、工事未着手となった。

【今後の具体的取組】

令和5年度に未着手となった5路線6件のうち、3路線4件の工事については、これまで時間を要していた協議が整ったことから、令和6年度中の工事着手を見込んでいる。残り2路線2件の工事については、当初計画していた布設位置に道路管理者が管理している構造物が設置されたことなどから、引き続き、施工等に係る協議・調整を進めていく。

令和6年度以降に工事着手を計画している工事については、引き続き、道路管理者等と速やかに協議・調整を行うなど、計画的に実施できるよう努めていく。